

## 海外進学をめざす高校生へのメッセージ



**ほんの少しでも気になったら参加してみる！応募してみる！**

誰かが話しかけてくれるのを待つ時間はない。  
自分から主体的に挑戦することがとても大切です！

おおさかグローバル塾 2019 年度修了生  
小関 麗永 さん  
モナシ大学マレーシア校（マレーシア）

### 【大学生活について】

2023 年 2 月で Monash 大学に入学してから 1 年経ちます。私が在学している大学は 1 年 2 学期制で、1 年のうちの半分（半年）が休みになっています。そのため、毎回、授業の進むスピードが速く、予習が特に大事になってきます。大学生活が始まって最初の半年間は、予習と課題を両立させることが難しく、学期を通して常に時間に余裕がない状態でした。そのため、課外活動や学校内の活動への参加ができませんでした。また、そのような活動に参加できなかったこともあって、いつも同じ日本人の友達と一緒に勉強していました。

しかし、2 学期に入ってから、1 学期とは全く反対の生活をするようになりました。私の大学では、自分が選んだ専攻の科目を最短で 1 年生の 2 学期から取り始めることができます。専攻科目は専門性のより高い内容になっており、私の専攻はほとんどがエッセイとプレゼンテーションの課題で評価されます。そのため、前学期の経験を活かして、

- ・予習は 2 週間分を前もって終わらせる
- ・課題は提出期限の 1 ヶ月前から着手し、1 週間前には提出できる状態にする
- ・全ての課題のスケジュールをカレンダーに入れておき、通知設定も頻繁に入れる

この 3 つを重点的に行いました。

その結果、学期を通して時間に随分と余裕ができました。課題に取り組む時間を 1 ヶ月確保したことで、特に評価される「倫理性」「語彙の豊かさ」「全体の文章構成」の 3 つをより完璧に仕上げられるようになりました。実際のところ、1 学期の課題の点数と比べて、大幅に評価が上がったなどはありませんでしたが、以前に比べて、毎回自信を持って課題を提出できるようになったこと、毎回 70～80% の、ある程度の評価をもらえるようになりました。

このような取組みで、時間と心に余裕ができ、1 学期はできなかった学校のさまざまな活動にも参加できました。1 年生の 2 学期には、ビジネス学部 1 年生の代表として、ビジネス学部主催のイベントで生徒からの質問に答えました。同時に、部活動や大学内で開催されたスポーツ大会にも参加したことで、ローカルの友達が一気に増え、その友達と過ごす時間が増えました。

私の 2 学期の 1 日の過ごし方は、

- ・10:00～18:00 授業を受け、終わり次第、友達と図書館に集合して勉強  
(この間にお昼前後に授業がない友達とお昼ご飯を食べる)
- ・18:00～20:00 夜ご飯
- ・20:00～ 部活動がある友達は部活へ、予定がない友達と勉強する、または友達とおしゃべり

と、このように過ごしていました。

Monash 大学はマレーシアの中でも特に多国籍な大学ですが、私の友達のほとんどはマレーシア出身です。そのためマレーシアイングリッシュに触れる機会が多く、少し使いこなせるようになってきました。また、ローカルだからこそ知っているレストランや観光スポットにも連れて行ってくれるので、私の 1 年生 2 学期の学生生活はとても充実していました。

### 【これから海外進学する皆さんへ】

これから海外で新しい生活を始めるのは、語学面など色々な面で不安ばかりだと思います。しかし、海外へ進

学するという大きな決断をした皆さんならそんな心配はいりません！その不安が大きいほど、意外にすぐ現地の生活に慣れることができます。そして、人間関係は自分から作っていくことが大切です！

私から皆さんにできるアドバイスは1つです。

「ほんの少しでも気になったら参加してみる！応募してみる！」

です。

私も実際に海外に来て、誰かが話しかけてくれるのを待つのは時間がもったいないと感じました。そのため、まず自分から主体的に挑戦することがとても大切です。そうすることで自然と自信がつき、その自信がまた違った良い結果に繋がっていきます。留学生は必ず1度は不安を感じるものだと思いますが、海外進学という素晴らしく大きな決断をした自分自身をまずは信じてください！

みなさんの海外大学での生活がより素晴らしいなるものになるようにマレーシアから応援しています！